

3 . 企画課

1 管内人口の動向	12
2 人口動態の動向	14
3 ヘルシーピープルみえ・21の取組み	19
4 研 修	24
5 学 生 実 習 等	24
6 病院・診療所立入検査	25
7 医 務	25

1 . 管内人口の動向

(1) 管内市町面積・世帯数・総人口

	面積 (km ²)	世帯数	総人口	人口密度 (人 / km ²)	老年人口 割合 (%)	後期高齢 人口割合 (%)
	(平成 19.10.1 現在)	(平成 19.10.1 現在)	(平成 19.10.1 現在)			
管内	327.51 (326.75)	137,944 (135,035)	367,450 (365,020)	1,124.2 (1,117.9)	19.5 (19.3)	8.6 (8.4)
四日市市	205.53	116,425	306,282	1,491.9	19.3	8.4
菰野町	107.28	13,451	39,576	370.2	21.7	10.4
朝日町	5.99	3,039	8,347	1,398.0	19.4	8.4
川越町	8.71	5,029	13,245	1,520.7	18.0	8.2

面積、世帯数、総人口 三重県政策部統計室
 老年人口割合：65 歳以上人口が全人口に占める割合
 後期高齢人口割合：75 歳以上人口が全人口に占める割合
 () は前年数値

(2) 市町村別・性別・年齢区分別人口

平成 19 年 10 月 1 日現在

		年 齢 別 人 口 構 成				
		総 数	15 歳未満	15～64 歳	65 歳以上	不 詳
管 内	総数	367,450	54,950	239,463	71,814	1,223
	男	181,741	28,029	121,698	31,144	870
	女	185,709	26,921	117,765	40,670	353
四日市市	総数	306,282	45,095	200,828	59,246	1,113
	男	151,667	23,034	102,130	25,692	811
	女	154,615	22,061	98,698	33,554	302
菰野町	総数	39,576	6,089	24,827	8,577	83
	男	19,345	3,064	12,521	3,718	42
	女	20,231	3,025	12,306	4,859	41
朝日町	総数	8,347	1,483	5,239	1,616	9
	男	4,155	761	2,668	720	6
	女	4,192	722	2,571	896	3
川越町	総数	13,245	2,283	8,569	2,375	18
	男	6,574	1,170	4,379	1,014	11
	女	6,671	1,113	4,190	1,361	7

		18 歳 未 満 人 口 の 構 成				
		0～5 歳	6～11 歳	12～14 歳	15～17 歳	計
管 内	総数	21,354	22,573	11,023	10,782	65,732
	男	10,829	11,559	5,641	5,485	33,514
	女	10,525	11,014	5,382	5,297	32,218
四日市市	総数	17,485	18,462	9,148	8,956	54,051
	男	8,876	9,479	4,679	4,551	27,585
	女	8,609	8,983	4,469	4,405	26,466
菰野町	総数	2,141	2,684	1,264	1,256	7,345
	男	1,039	1,369	656	644	3,708
	女	1,102	1,315	608	612	3,637
朝日町	総数	751	501	231	197	1,680
	男	397	249	115	99	860
	女	354	252	116	98	820
川越町	総数	977	926	380	373	2,656
	男	517	462	191	191	1,361
	女	460	464	189	182	1,295

2 . 人口動態の動向

(1) 市町別人口動態件数及び率

平成 18 年確定数

市 町 名	人口 (H18.10.1)	出 生		死 亡		乳 児 死 亡		新 生 児 死 亡	
		数	率 (人口千対)	数	率 (人口千対)	数	率 (出生千対)	数	率 (出生千対)
管 内	365,020	3,544	9.7	2,932	8.0	12	3.4	7	2.0
四日市市	304,941	2,938	9.6	2,445	8.0	11	3.7	7	2.4
菰野町	39,298	346	8.8	331	8.4	-	-	-	-
朝日町	7,668	99	12.9	56	7.3	-	-	-	-
川越町	13,113	161	12.3	100	7.6	1	6.2	-	-
三重県	1,867,696	15,816	8.5	17,156	9.2	45	2.8	25	1.6

市 町 名	死 産		周産期死亡		婚 姻		離 婚		合計特殊 出生率 注 1
	数	率 (出産千対)	数	率 (出産千対)	数	率 (人口千対)	数	率 (人口千対)	
管 内	90	24.8	28	7.9	2,203	6.0	722	1.98	1.44
四日市市	76	25.2	22	7.5	1,877	6.2	604	1.98	1.44
菰野町	7	19.8	2	5.7	176	4.5	67	1.70	1.39
朝日町	3	29.4	1	10.0	50	6.5	15	1.96	1.60
川越町	4	24.2	3	18.3	100	7.6	36	2.75	1.55
三重県	426	26.2	83	5.2	9,889	5.3	3,508	1.88	1.36

注 1 : 合計特殊出生率とは、女子の年齢別出生率の合計で 1 人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時のこども数を表す。

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\} \text{ 15 歳から 49 歳までの合計}$$

(2) 市町別主要死因別死亡者数

平成 18 年確定数

	全死因	結核	悪性 新生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患	脳血管 疾患	大動脈瘤 及び解離	肺炎
管内	2,932	7	871	37	13	443	314	29	283
四日市市	2,445	6	736	28	11	362	253	26	230
菰野町	331	0	93	5	2	58	40	2	36
朝日町	56	0	12	2	0	9	7	0	7
川越町	100	1	30	2	0	14	14	1	10
三重県	17,156	33	4,718	222	112	2,792	2,022	174	1,634

	慢性閉塞 性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事故	自殺	交通事故	その他
管内	53	7	41	56	105	120	73	39	441
四日市市	48	6	33	48	89	107	61	35	366
菰野町	3	1	6	4	13	8	9	3	48
朝日町	2	0	1	2	2	3	1	1	7
川越町	0	0	1	2	1	2	2	0	20
三重県	248	38	193	368	815	745	398	213	2,431

市町別主要死因別年齢調整死亡率(人口10万対)注2

	全死因	結核	悪性 新生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患	脳血管 疾患	大動脈瘤 及び解離	肺炎
管内	424.24	0.97	137.18	5.12	1.33	59.83	40.12	4.03	33.58
四日市市	429.95	1.07	139.68	4.69	1.42	58.66	39.91	4.37	33.50
菰野町	386.53	-	119.52	5.11	1.16	70.35	38.41	2.86	31.93
朝日町	368.88	-	103.90	14.57	-	51.88	40.55	-	39.44
川越町	463.05	2.26	158.43	9.98	-	63.74	47.49	2.26	41.33
三重県	413.49	0.70	126.77	5.58	2.10	61.83	43.59	4.09	30.57

	慢性閉塞 性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事故	自殺	交通事故
管内	6.40	0.78	7.42	6.94	10.00	20.92	18.07	8.54
四日市市	7.03	0.84	7.38	7.43	10.59	22.63	17.86	8.93
菰野町	4.06	0.58	8.34	3.33	9.13	12.62	20.17	8.52
朝日町	8.52	-	6.18	8.52	8.52	16.42	13.37	7.90
川越町	-	-	6.25	6.43	2.26	7.89	17.29	-
三重県	4.88	0.84	6.00	7.22	11.86	23.60	18.72	9.13

(3) 市町別性別悪性新生物部位別死亡者数

平成 18 年確定数

	性別	総 数	食 道	胃	結 腸	直腸 s 状 結腸移行部 及び直腸	肝 及 び 肝内胆管
管 内	男	543	15	88	46	23	51
	女	328	4	45	39	13	23
四日市市	男	461	13	74	40	17	44
	女	275	3	42	25	13	21
菰野町	男	53	0	7	5	3	5
	女	40	1	3	8	0	2
朝日町	男	7	0	0	1	2	1
	女	5	0	0	4	0	0
川越町	男	22	2	7	0	1	1
	女	8	0	0	2	0	0

	性別	胆のう及 びその他 の胆道	膵	気 管、 気 管 支 及 び 肺	乳 房	子 宮	白血病	その他
管 内	男	24	24	148	0	-	13	111
	女	19	30	44	22	13	8	68
四日市市	男	22	18	125	0	-	12	96
	女	17	23	38	21	8	8	56
菰野町	男	2	5	15	0	-	1	10
	女	2	7	6	0	2	0	9
朝日町	男	0	0	2	0	-	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	1
川越町	男	0	1	6	0	-	0	4
	女	0	0	0	1	3	0	2

(4) 市町別低体重児数

平成 18 年確定数

	低体重児数(率)			1.0 kg未満		
	総数	男	女	総数	男	女
管内	386 (10.9)	175 (9.8)	211 (12.0)	12	3	9
四日市市	330 (11.2)	153 (10.4)	177 (12.1)	10	3	7
菰野町	31 (9.0)	11 (6.3)	20 (11.8)	1	0	1
朝日町	8 (8.1)	2 (3.6)	6 (14.0)	1	0	1
川越町	17 (10.6)	9 (11.7)	8 (9.5)	0	0	0
三重県	1,481 (9.4)	678 (8.4)	803 (10.3)	46	19	27

	1.0 kg以上～1.5 kg未満			1.5 kg以上～2.0 kg未満			2.0 kg以上～2.5 kg未満		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
管内	19	12	7	52	23	29	303	137	166
四日市市	16	11	5	42	19	23	262	120	142
菰野町	2	1	1	4	2	2	24	8	16
朝日町	1	0	1	3	0	3	3	2	1
川越町	0	0	0	3	2	1	14	7	7
三重県	69	38	31	202	108	94	1,164	513	651

注2：年齢調整死亡率(旧訂正死亡率) =
$$\frac{\left\{ \left[\begin{array}{l} \text{観察集団の各年齢} \\ \text{(年齢階級)の死亡率} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{l} \text{基準人口のその年齢} \\ \text{(年齢階級)の人口} \end{array} \right] \right\} \text{の各年齢(年齢階級)の総和}}{\text{基準人口の総和}}$$

年齢構成が著しく異なる人口集団の間での死亡率や、特定の年齢層に偏在する死因別死亡率などについて、その年齢構成の差を取り除いて比較する場合に用いる。これを標準化死亡率という場合もある。基準人口としては昭和60年モデル人口を用いている。

(5) 各種統計・報告

1. 母体保護統計

不妊手術及び人工妊娠中絶の実施状況を把握し、母体保護に関する諸施策推進の為の基礎資料とする。

(1) 人工妊娠中絶届出数(年齢別・在胎週別)

(平成19年度)

年齢別 在胎週別	総数	20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～	不詳
総数	829	98	182	172	169	161	43	4	0	0
満7週以内	568	58	124	118	118	115	33	2	0	0
8～11週以内	206	30	45	44	37	40	8	2	0	0
12～15週以内	35	8	7	7	9	3	1	0	0	0
16～19週以内	16	1	5	3	4	2	1	0	0	0
20～21週以内	4	1	1	0	1	1	0	0	0	0

2. 母子保健報告

三重県における母子保健に関する情報を収集・解析することにより、地域母子保健医療対策の確立および推進を図る。(県健康福祉部で集計)

3. 地域保健・老人保健事業報告

地域住民の健康の保持増進を目的とした地域の特性に応じた保健対策の展開等を実施主体である保健所及び市町村ごとに把握し、地域保健施策の推進のための基礎資料とする。

4. 福祉行政報告例(月報・年報)

社会福祉関係諸法規の施行に伴う行政の実態を数量的に把握して、社会福祉行政運営のための基礎資料とする。

5. 病院報告

医療法に基づいて病院と療養型病床群を有する診療所における患者の利用状況と病院の従事者の状況を把握する。

6. 医療施設調査

医療施設の分布及びその機能の実態を明らかにするために実施され、3年毎に静態調査、月毎に動態調査を実施する。

3. ヘルシーピープルみえ・21の取り組み

当保健福祉事務所では平成13年度から「ヘルピー活性化会議」を設置し、健康づくりに関わる地域の関係者が集まって健康課題を議論してきましたが、その中で「生まれてから死ぬまでの健康情報が引き継がれていく取り組みをこの地域でやってはどうか」という提案が出され、平成14年度に産・官・民の代表の参加を得て「ヘルピー小委員会」を立ち上げ、生涯を通じて健康情報を管理するための“私の健康手帳”の検討が始まりました。

平成15年度末、FDによる“私の健康手帳”の作成をもって事業のひと区切りをつけることができ、平成16年度は個人や企業が健康管理記録としてこの健康手帳を活用し、生涯を通じた健康情報の円滑な継承と健康づくりへの有効活用等の検証を行っていく上で、関係機関との連携を具体化していくこととなりました。時を同じくして四日市市健康づくり計画「健康づくり21～元気でくらそに！～」が策定され、企業城下町四日市市が「職域保健」との連携を掲げ、地域・職域保健の連携事業に取り組み始めました。

平成12年度国勢調査の結果、管内15歳以上労働人口は同世代の60.3%を占めており、平成13年度事業所・企業統計調査によると従業員50人未満の小企業が管内企業全体の93%を占め、全就労者の6割強が従業員50人未満の事業所に就業しています。また、平成16年度三重県が実施した「県内事業者調査」結果で、中小企業において健診未実施のところが15%にのぼり、従業員の健康づくりへの支援体制が弱いことが明らかになりました。

これらを受けて当保健福祉事務所では、ヘルピーの第2ステップとして平成16年度から平成18年度までの3年間で、生涯を通じた継続的な健康管理の中に働く世代の健康づくりを位置づけ、それを支えるための地域保健と職域保健の連携体制を整備していくこととしました。

平成16年度は関係者を対象とした研修会を開催し、情報交換や連携の必要性について多くの方の理解を得ることができました。平成17年度は関係者による三四地区地域・職域保健連携推進協議会を立ち上げ、協議会の場で「働く世代の健康を守る」上での課題とその改善策を検討することができました。平成18年度は協議会参加委員の合意のもとに決めた今後の取り組み目標に向けて、協議会を母体として関係機関間の連携・協力体制を強化し、具体的な事業を展開しました。

平成19年度も引き続き具体的な事業やウォーキングマップなどの啓発資料を作成するとともに、平成20年度から始まる特定健診・特定保健指導の実施に向けた関係者の情報共有の取り組みを行いました。

1. 地域保健・職域保健の連携

1) 平成19年度の取り組み

(1) 三四地区地域・職域保健連携推進協議会

協議会構成員

職域保健関係：産業保健推進センター、地域産業保健センター
社会保険健康事業財団、労働基準監督署、
労働基準協会、企業（事業協同組合）、
商工会議所（商工会）

地域保健関係：市町保健センター、保健所、地区組織

その他：医師会、健診事業者、学識経験者（産業医）

開催状況・検討内容



日 時	議 題（平成19年度）
第1回 平成19年10月15日 四日市庁舎 参加委員 21名 その他 5名	1. 講演 「特定健診・特定保健指導と地域職域連携推進協議会の役割」 講師：大阪大学医学系研究科教授 荒木田美香子氏 2. 来年度の特定健診・特定保健指導へ向けての情報交換 1) 三重県の状況 2) 四日市保健福祉事務所管内の状況

	<p>3. 今後の取り組みについて</p> <p>(1) 第1回作業部会の報告</p> <p>(2) 健康づくりモデル事業について</p> <p>(3) 共通の社会資源 資源マップの作成について</p> <p>(4) 啓発用ポスター紹介</p> <p>4. その他</p> <p>(1) 委員の任期等について</p>
<p>第2回 平成20年3月4日 四日市庁舎 参加委員 23名 その他 5名</p>	<p>1. 特定健診・特定保健指導に向けての地域・職域保健の連携について</p> <p>1) 「三重県の地域・職域保健連携推進事業にかかわって」 講師：大阪大学医学系研究科教授 荒木田美香子氏</p> <p>2) 三重県の状況</p> <p>2. 平成19年度の協議会事業について</p> <p>1) モデル事業の実施とその他の取り組み</p> <p>2) 啓発事業</p> <p>3) ウォーキングマップの作成</p> <p>3. 県四日市保健所の廃止に伴う今後の協議会のあり方について</p>

(2) 三泗地区地域・職域保健連携推進協議会作業部会
作業部会構成員

職域保健関係：地域産業保健センター、
社会保険健康事業財団、産業保健師
地域保健関係：市町保健センター、保健所、地区組織
その他：健診事業者
開催状況・審議内容



日 時	議 題 (平成19年度)
<p>第1回 平成19年6月7日 参加委員13名 その他 2名</p>	<p>1. 講演 「平成20年度特定健診・特定保健指導実施に関する最新の情報と課題 について～国の状況を中心に～」 講師：大阪大学医学系研究科教授 荒木田美香子氏</p> <p>2. 情報提供 「三重県の状況と今後の方向性について」</p> <p>3. 作業部会役員の変更</p> <p>4. 平成18年度作業部会における取り組みの経緯</p> <p>5. 各所属における現状と課題について</p> <p>6. 平成19年度の作業部会の取り組みについて</p>
<p>第2回 平成19年12月21日 参加委員9名</p>	<p>1. 第1回三泗地区地域・職域保健連携推進協議会報告</p> <p>2. 健康マップの作成</p>

(3) 連携事業

平成18年度に協議会及び作業部会で検討した今後の取り組み目標に向け、協議会参加機関を母体に作業部会と連動して具体策を進めながら、各支援機関の役割を確認し、連携内容を明確化していきます。

ウォーキングマップの作成・配付・活用について

事業主へのPRのための健康教育
 モデル事業所の取り組み（小規模事業所2社）
 その他
 職場のメンタスヘルスサポーター養成講座の開催
 菰野町国保ヘルスアップモデル事業の実施
 地域活動栄養士による事業所における健診後のフォロー

(4) 人材育成

日時	内容	主催
平成17年12月21日	地域・職域保健従事者研修会 国保ヘルスアップ事業 「地域・職域保健の連携による健康支援の 実践から」 石川県小松市役所 保健師 茗荷谷弘子 氏	四日市保健福祉事務所
平成18年3月22日	効果的な保健事業の考え方・つくり方・ 伝え方 明治安田生命厚生事業財団 研究員 甲斐裕子 氏	四日市保健福祉事務所
平成18年11月27日	医療制度改革と地域職域連携 大阪大学医学系研究科 教授 荒木田美香子 氏	四日市保健福祉事務所
平成18年12月6日	糖尿病の最新治療と保健指導 四日市社会保険病院 内科医長 古田雅彦 氏	社会保険健康事業財団 三重県支部
平成19年1月31日	ヘルスプロモーションを保健活動の軸に 三重県鈴鹿保健福祉事務所 所長 佐甲隆 氏	四日市保健福祉事務所
平成19年3月2日	保健指導でやる気を引き出す働きかけの ポイント ～健康行動理論に基づいて～ 医師 松本千明 氏	四日市保健福祉事務所
平成19年3月15日	標準的な健診・保健指導のプログラムに ついて 社会保険健康事業財団保健部 部長 松田一美 氏	社会保険健康事業財団 三重県支部
平成19年8月30日	平成20年度からの特定健診・特定保健指 導を活かした健康づくり 四日市看護医療大学 学長 河野啓子 氏	桑名保健福祉事務所
平成19年11月19日	職場復帰サポート 日立キャピタル損害保険株式会社ニアメィカルア ドバイザ-NPO法人MDA 代表 山口律子 氏	四日市保健福祉事務所

2) 成果

平成19年度は平成18年度に引き続き、事業主の健康管理への意識を高めるための啓発活動やモデル事業所への支援を継続することにより、各関係機関のサービスを必要な人に繋げつつ、関係機関の連携方法や役割をより明確にすることが出来ました。

また、平成20年度の医療制度改革による、特定健診・特定保健指導の義務化に向け、保険者がスムーズに被保険者とその家族へのサービスを提供できるよう体制整備に取り組むことが出来ました。

2. こころの健康づくり

1) 平成19年度の取り組み

(1) 精神保健福祉研修会

会場： 県四日市庁舎 6階 大会議室

	内 容	講 師	日 時	出席者数
1	・ 講義 基礎知識の理解 (ストレス・うつ病・職場のメンタルヘルス) 専門知識の理解 (PTSD・自殺予防) ・メンタルヘルス技法の知識と体験	こころの健康センター 所長 崎山 忍氏 保健福祉事務所保健師	5月23日 13:00～ 17:00	142名
2	・ 講義 専門知識の理解 (睡眠障害・高齢者のメンタルヘルス)	こころの健康センター 医師 臼井 卓士氏	6月13日 13:30～ 16:30	73名
3	・ 講義 疾患の理解と対応 (統合失調症・パーソナリティ障害等)	総合心療センター ひなが 医師 浅井 慶介氏	6月25日	83名
4	・ 講義と演習 積極的傾聴の知識と体験	産業カウンセラー 前田 隆司 氏	7月11日 10月1日 10月29日	42名 29名 16名
5	・ 講義と演習 メンタルヘルス技法の知識と体験 (交流分析等)	交流分析士 山口 節子氏	8月22日	42名
6	・ 講義と演習 メンタルヘルス技法の知識と体験 (認知療法等)	ボンティキュラス心理 研究所 所長 小林 展子氏	8月13日	52名
7	精神保健福祉総論 (関連法の理解)	障害福祉室 主幹 橋倉 恵津子氏 主事 三上 政和氏	5月16日	55名
8	精神障害等ソーシャルワーク技術	障害福祉室 専門監 村木顕太郎氏 主事 三上 政和氏	10月10日	28名
9	・ 講義 職場復帰サポート	MDA JAPAN 代表 山口 律子 氏	11月19日	109名

2) こころの健康教育

	内 容	講 師	日 時	出席者数
1	四日市市リスナー養成講座 「エゴグラム」グループワーク 「ストロークと認知療法」	市保健師 保健福祉事務所保健師	6月12日	30名
2	四日市市リスナー養成講座 「アサーティブ」	市保健師 保健福祉事務所保健師	6月19日	23名
3	三重郡第1回栄養教室 「健康づくり総論・肯定的ストローク」	保健福祉事務所保健師	6月26日	32名
4	こころの健康公開講座 「ストレスに打ち勝つメンタルトレーニング」	メンタルトレーニング 施設企画 代表 岡本 正善 氏	20年 1月28日	157名
5	県社協 テーマ別技術研修会 講義 「うつ傾向な人、ひきこもりがちな人への	保健福祉事務所保健師	20年2月4日	22名

	リスニング」			
6	川越町リスナー養成研修会 講義と演習 「エゴグラム」 「わかちあい」 「ストローク」	こころの健康センター 保健師 川越町保健師 保健福祉事務所保健師	20年3月3日	32名

2) 成果

精神保健福祉研修会では、企業をはじめ、市町、関係職員の多数の参加を得ることが出来、普及啓発や関係者へのスキルアップを図ることができました。

3. たばこ対策

健康日本 21 の基盤整備のひとつとして、平成 14 年 7 月に健康増進法が公布され、平成 15 年 5 月の法施行に伴い、禁煙対策は我が国の健康政策の大きな柱に位置づけられました。その中では、行政や企業が積極的に個人の禁煙支援を行うことがすすめられ、より効果的な禁煙支援の方策を検討することが公衆衛生上の重要な課題となってきています。

また 2006 年 4 月にはわが国の保険診療上初めて禁煙治療に対する保険適用（ニコチン依存症管理料）が認められ、さらに 6 月 1 日からはニコチンパッチが薬価基準収載となり、保険診療体制が整うなど、国家政策として禁煙環境が整備されてきています。

1) 平成 19 年度の取り組み

(1) 禁煙サポート

住民からの問い合わせに対応するため、平成 18 年度は、四日市医師会の協力を得て管内保険診療適用医療機関を調査しホームページ上で情報提供を行いました。

(2) 啓発

- ①飲食店の「たばこの煙の無いお店」に関するチラシの配布
- ②世界禁煙デー啓発物の配布 近鉄四日市駅 500人
- ③イベントでの普及啓発の実施



実施日	実施内容	参加者
平成 19 年 11 月 18 日（日）	菰野町文化祭 禁煙相談・呼気CO濃度測定・パンフレット配布・ タバコクイズ	40人

④スモーカーライザーの貸出

(株)魚国総本社三重支社 2回

4. 食環境整備

栄養・食生活

1) 平成 19 年度の取り組み

地域全体として健康的な食生活の実践に多くの住民が取り組めるように、食事バランスガイドを中心に普及啓発や人材育成を行なうとともに、健康的な食生活、食習慣の形式期にある幼児期からの食育の推進に取り組みました。

(1) 食事バランスガイドの普及啓発

- ①研修会 4回
- ②普及啓発キャンペーン 1回
- ③他団体との協働事業 1回

(2) 人材育成

- ①食育ボランティア講座 1回
- ②地区組織支援研修会 2回

(3) 幼児期からの食育の推進

食事バランスガイドの普及啓発キャンペーン中



研修会の開催 1回
朝食欠食ゼロ推進健康教育支援 11回

2) 成果

食事を楽しみ、食事のセルフコントロールができる人を増やすために、地区組織等との協働により食事バランスガイドの普及・啓発に積極的に取り組むことができました。今後も継続して取り組むことによりいろいろな世代への広がりや定着が期待できます。

また、幼児期からの健康的な食生活を推進するために、保育園や幼稚園等の保護者を対象に地区組織等と協働で朝ごはんの大切さや具体的なメニュー紹介等、具体的な取り組みをすることができました。今回の取り組みを通じて、今後、各家庭や各施設での食育が推進されるものと思われま

5. 平成 20 年度の取り組み

平成 20 年 3 月末をもって四日市保健所は廃止され、これらの事業は四日市市保健所と桑名保健福祉事務所が担当することになります。四日市保健福祉事務所での実践がそれぞれの地域で活かされるよう、関係者と協働し取り組んでいきます。

4 . 研修

1) 管内保健師研修会

実施日	内容	参加者数
平成 19 年 8 月 30 日 (桑名保健福祉事務所主催)	講演 「平成 20 年度からの特定健診・特定保健指導を活かした健康づくり」 講師：四日市看護医療大学 学長 河野 啓子 氏	6 名
平成 19 年 11 月 16 日 (菰野町役場と共催)	講演 「災害時の救援活動の実際と平時からの必要な対策」 講師：兵庫県災害医療センター 顧問 鷗飼 卓 氏	15 名
平成 19 年 11 月 19 日	講演 「職場復帰のサポート」 講師：日立キャピタル外選外保険株式会社シアメディアアドバタイズ - NPO 法人 MDA 代表 山口 律子 氏	26 名

5 . 学生実習等

1) 実習生指導

学校名等	人員	グループ数	実習日数
三重大学医学部看護学科(地域看護実習)	6 名	2G	20 日
三重県立看護大学看護学科	2 名	1G	10 日
名古屋学芸大学	3 名	2G	10 日
武庫川女子大学	1 名		
名古屋女子大学	1 名		
椙山女学園大学	2 名		
鈴鹿医療科学大学栄養学科	1 名		
新医師臨床研修	7 名	-	14 週

6 . 病院・診療所立入検査

医療法等関係法令に基づき、桑名、四日市、鈴鹿保健福祉部管内の病院及び診療所に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査を行い、適正且つ良質な医療を確保するための指導助言を行いました。

(病院・診療所立入検査の状況)

平成 19 年度

区 分		公 立	医療法人立	そ の 他	合 計
対象施設数	病 院	5	30	9	44
	診 療 所	0	17	74	91
	合 計	5	47	83	135
検査延件数	病 院	5	30	9	44
	診 療 所	0	16	71	87
	合 計	5	46	80	131

7 . 医 務

医療法等関係法令に基づき、医療施設の開設・内容変更・廃止等の事務及び構造設備の適正管理等について確認検査を行いました。

医療従事者については、免許の申請・書換・再交付等の事務を行いました。

(1) 市町別医務施設数

平成 20 年 3 月末現在

	病 院	一般診療所	歯科診療所	歯科技工所	助 産 所	施 術 所	合 計
四日市市	13	244	155	41	3	204	660
菰野町	3	20	13	4	1	29	70
朝日町	0	7	3	0	0	8	18
川越町	0	8	5	0	0	3	16
三重郡計	3	35	21	4	1	40	104
管内計	16	279	176	45	4	244	764

(2) 確認検査と開設・廃止状況(件数)

	確認検査	開設許可	開設届	廃止	使用許可
病院	6	0	0	0	26
一般診療所	19	4	18	19	2
歯科診療所	6	0	6	5	1
歯科技工所	0	0	0	0	0
助産所	1	0	1	0	0
施術所	12	0	12	12	0
総数	44	4	37	36	29

(3) 市町別病院及び許可病床数

	許可病床数							備考
	一般	救特	療養	精神	結核	感染	総数	
三重県立総合医療センター	442	30				4	446	
市立四日市病院	566					2	568	
四日市社会保険病院	243	20			20		263	
みたき総合病院	74		88				162	
主体会病院	105		123				228	
小山田記念温泉病院	170		220				390	
二宮病院	0		38				38	
富田浜病院	62		83				145	
総合心療センターひなが				580			580	
山中胃腸科病院	73		20				93	
石田胃腸科病院	38						38	
水沢病院			38	196			234	
四日市青洲病院			30				30	
四日市市計	1,773	50	640	776	20	6	3,215	
菰野厚生病院	146		84				230	
三愛病院	20		20				40	
三重聖十字病院	25						25	
菰野町計	191	0	104	0	0	0	295	
三重郡計	191	0	104	0	0	0	295	
総数	1,964	50	744	776	20	6	3,510	

一般診療所の療養病床：47床